



市民との対話集会（地域の歴史編）



対話集会とは

「地域の課題は市民の声の中にある。」との考えのもと、現場目線で、施策を推進していくことや、多くの市民の方が、市政やまちづくりを自分事として考え、行動する気運の醸成を図ることを目的として、市民と同じ目線に立ち市政やまちづくりを語り合う場です。

今年度は、次世代の思いを紡ぐ対話集会を2回、テーマ別対話集会を6回開催しています。

テーマ別対話集会～地域の歴史編～

歴史・文化遺産の保存・活用のあり方について、「探り、学ぶ、活かす、引き継ぐ」をテーマにして一緒に考えました。

日時：10月15日（日）14：00～16：00

場所：商工観光センター 4階 展示交流室

参加者：発言者15名 傍聴者13名

テーマ：① 「探る、学ぶ」について

② 「活かす」について

③ 「引き継ぐ」について

主な意見（全容はグラレコをご覧ください！）

【探る、学ぶ】

- 子どもたちへ地域の歴史があることを伝えることができれば。
- 関心が無い人にいかに知ってもらうかの取り組みが必要。
- 地域の事は地域の人が学びのサポートをすれば良い。地域で一緒に子ども達を育てていくことは素敵。
- 地域の珍しいものや大切な物などまとめる事が出来ないか。
- 身近な歴史を掘り起こす。今やらないと永遠に消え去ってしまう部分もある。

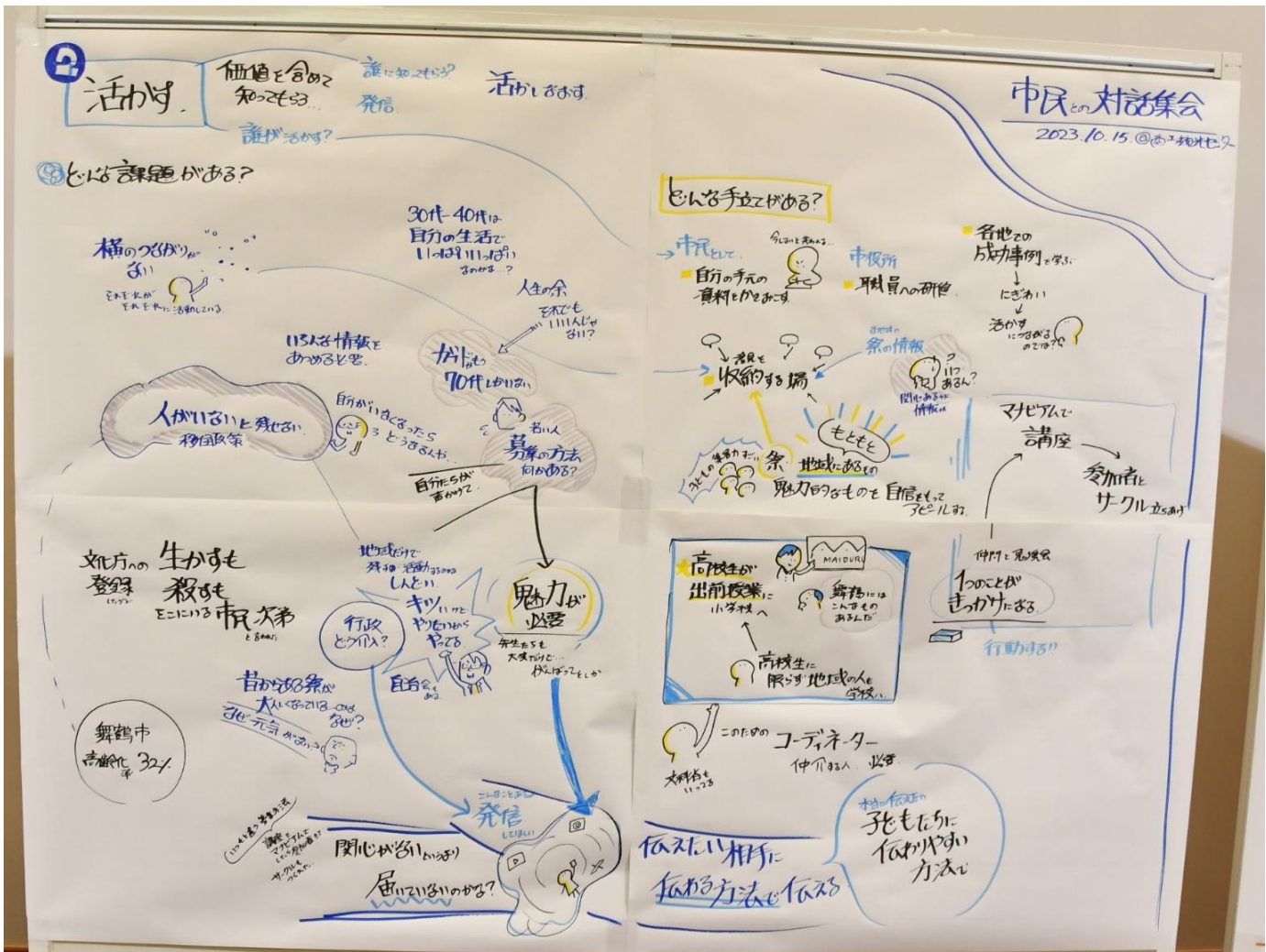
【活かす】

- 人の熱心さに頼っていると持続性が無いので、コーディネーターが必要。
- 自信をもって地域にある物のアピールが大事。
- 公民館などとの連携。若い世代から次世代に向けたアピール
- 活かすも殺すも、そこに住む住民次第。行政に頼るな。

【引き継ぐ】

- 地域だけで引き継いでいくのは難しい。地元のものを残す使命感が大切。
- 引継ぎが出来る仕組みづくりが大切。
- 本気で活動していれば子どもたちには伝わる。
- 楽しく活動している姿を見せることが大切。





なぜ対話?

- 課題は現場にある
- 官民連携を目指して

一緒に取組むために

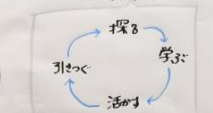
歴史

舞鶴市では鬼力愛者につがる

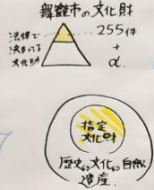
ふだんは意識しないけれど
先人から脈々と愛りつづけてきた

舞鶴市
歴史文化基本構想

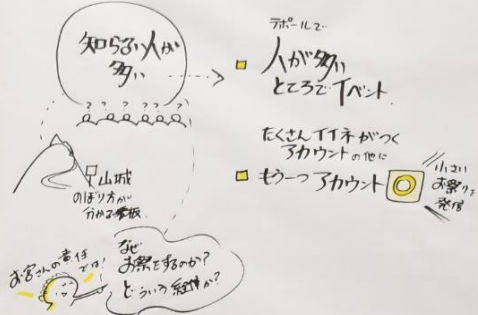
歴史文化基本構想
文化財をどう使うか
文化財保存活用計画



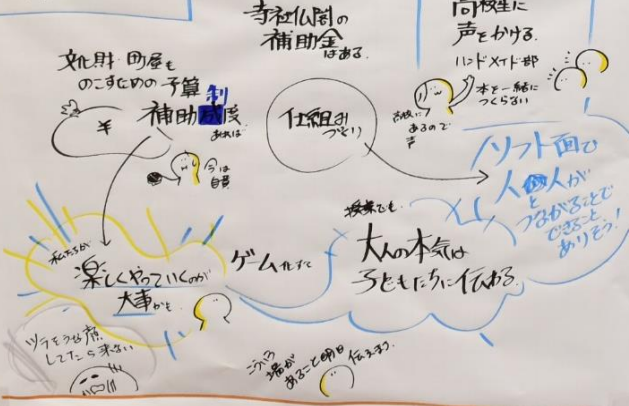
- 舞鶴市6つのテーマ
- 多様な自然
 - 人と海との関わり
 - 山里の信仰と交流
 - 田辺城下町と里
 - 舞鶴鎮守府開庁
 - 引揚倉と歴史



引きつづ



引きつづ



おひらきのご感想

グラフィックレコーディング

グラフィックレコーディングとは、会議の中での議論を図式や絵などを使ってリアルタイムで可視化し記録する技術です。重要な要素をビジュアル化することで、内容を俯瞰的、直感的に捉えることができ、議論の活性化に繋がるものとして活用されています。

